

【2-A】 深川連区 社会条件

【連区の概要】

深川連区は瀬戸市中央部のやや東寄りに位置する。市街地にはやきもの産業関連施設が集積している。連区南西部には生活サービス施設である商店街がある。主要道路としては、国道 248 号などが存在する。鉄道は連区内には存在しないが、近隣に名鉄瀬戸線の尾張瀬戸駅が存在する。

深川連区



【人口および世帯数】

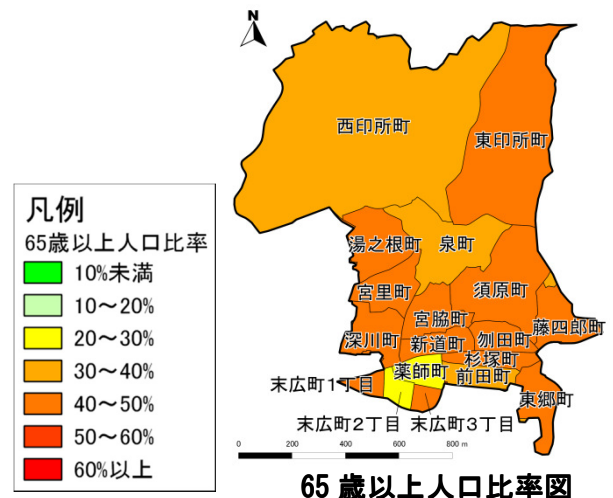
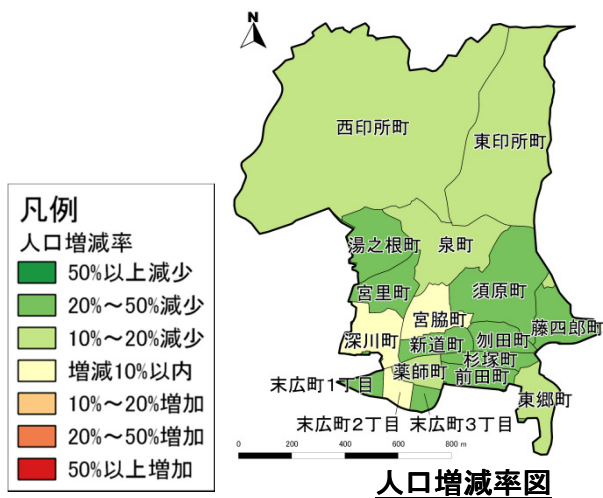
平成 12 年から平成 22 年までの 10 年間で、深川連区全体の人口は 3,115 人から 2,531 人と 18.7%減少し、ほぼ全域で減少傾向である。また世帯数は 1,242 世帯から 1,073 世帯と 13.6%減少している。

深川連区全体の 65 歳以上人口比率が 39.0%と、瀬戸市全体の 23.3%と比べて 15.7%高く、連区全域にわたって高齢化が進展している。

階層別人口構成

年代	人口	構成比
0～14歳	186人	7.4%
15～64歳	1,354人	53.6%
65歳以上	985人	39.0%
区分不明	6人	-
連区内人口	2,531人	

※平成22年国勢調査結果より



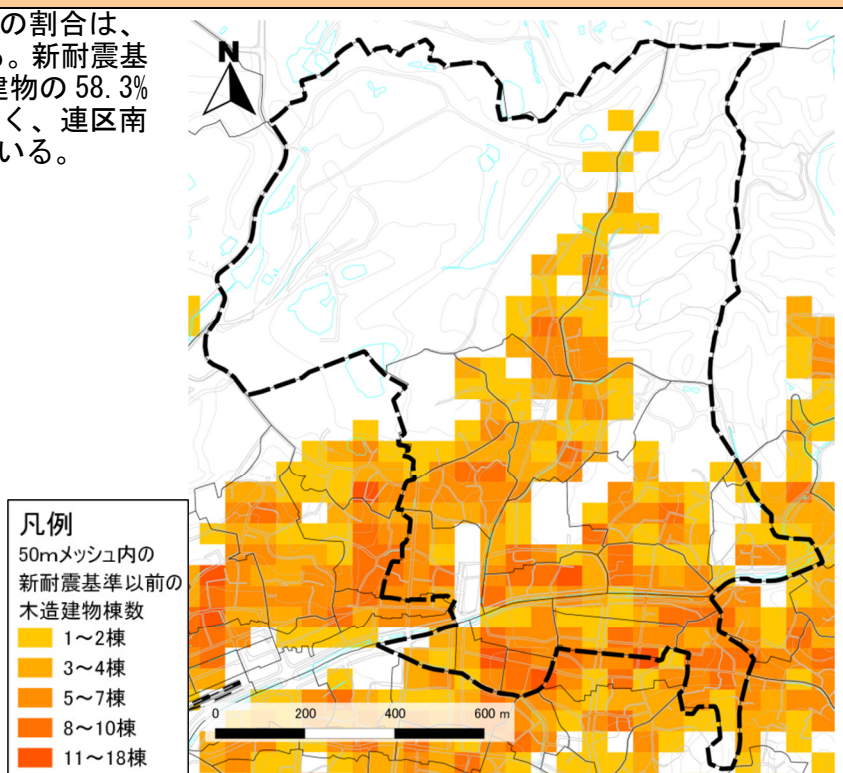
【建物】

深川連区の木造建物および非木造建物の割合は、木造建物 69.9%、非木造建物 30.1%である。新耐震基準以前(昭和 55 年以前)の木造建物は全建物の 58.3%であり、瀬戸市全体の 34.3%に比べて高く、連区南部の市街地および印所川沿いに集中している。

木造・非木造構成

	建築年	棟数	構成比
木造	S35年以前	615棟	43.8%
	S36～55年	203棟	14.5%
	S56年以降	162棟	11.5%
	計	980棟	69.9%
非木造	S45年以前	229棟	16.3%
	S46～55年	84棟	6.0%
	S56年以降	110棟	7.8%
	計	423棟	30.1%
連区内棟数		1,403棟	100.0%

※平成23年度都市計画基礎調査
建物利用現況図をもとに集計



【2-B】 深川連区 水害および土砂災害

- 過去に大規模な水害が発生した箇所がある。また、連区南東部に土砂災害特別警戒区域および土砂災害警戒区域が存在する。
- 連区北部に風水害時の避難所までの距離が離れている地域が存在する。

【水害および土砂災害箇所】

深川連区では、浸水想定区域はないが、過去には昭和32年に泉町で大規模な水害が発生している。また、大正14年にも大規模な水害が発生している。

また、藤四郎町と東郷町では土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）および土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）に指定されている箇所があり、対策が必要である。

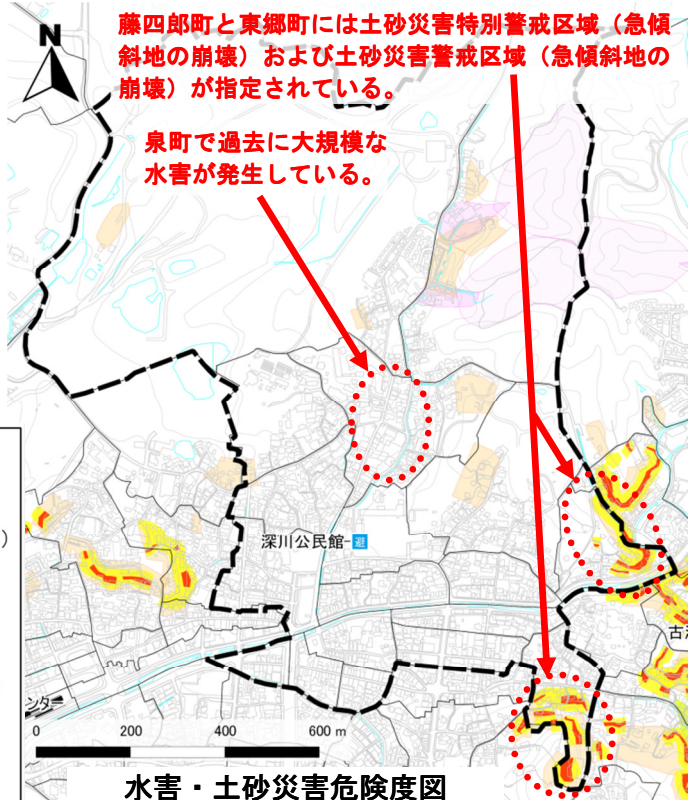
その他、須原町から東印所町にかけ、急傾斜地崩壊危険箇所または土石流危険渓流に指定されている箇所が存在する。

土砂災害警戒区域内にある建物棟数

急傾斜地の崩壊	48棟
特別警戒区域	21棟
警戒区域	27棟

凡例

- 風水害避難所
- 土砂災害情報
- 急傾斜地の崩壊（特別警戒区域）
- 土石流（特別警戒区域）
- 急傾斜地の崩壊（警戒区域）
- 土石流（警戒区域）
- 土石流危険渓流
- 土石流危険渓流による危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 既往水害（東海豪雨）



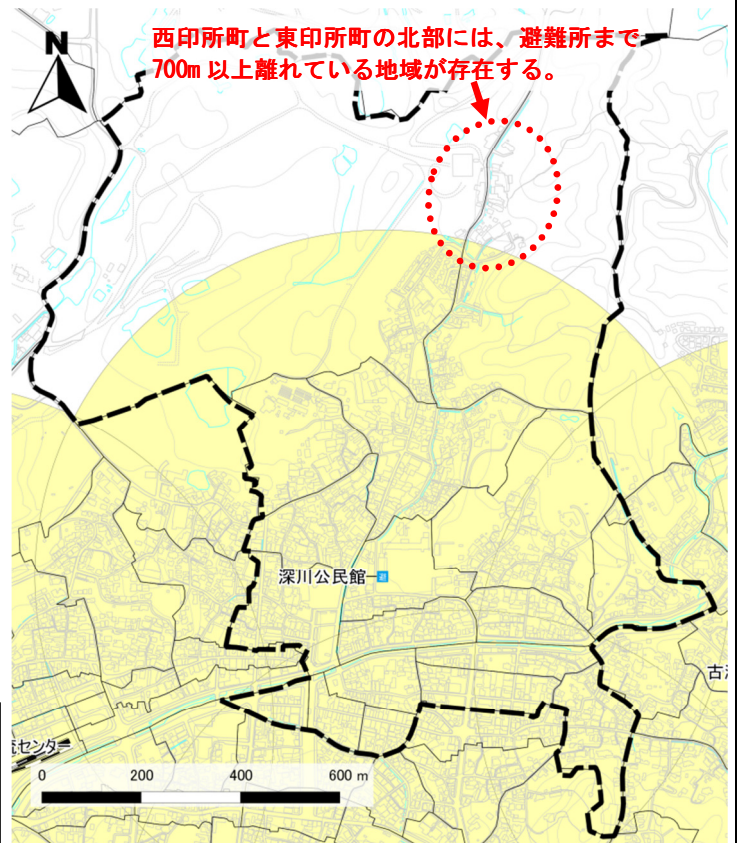
【風水害時の避難所および緊急避難場所】

深川連区では深川公民館が風水害時の避難所・緊急避難場所として指定されている。近隣連区の避難所も含めると、窯業関連の施設が立地する西印所町と東印所町の北部を除き、700m以内に風水害避難所が存在する。

風水害時の避難所・緊急避難場所一覧

緊急避難場所・避難所	収容定員(目安)		
	長期	初期	直後
深川公民館	40人	85人	135人

※地域防災計画より



凡例

- 避難所・緊急避難場所（風水害）
- 緊急避難場所兼避難所
- 避難所等からの対象範囲（同心円）
- 避難所から700mの範囲

【2-C】 深川連区 地震災害

- 連区のほぼ全域で耐震性の低い建物が倒壊する割合が高い。
- 連区のほぼ全域にて、近隣に地震時の避難所が存在する。

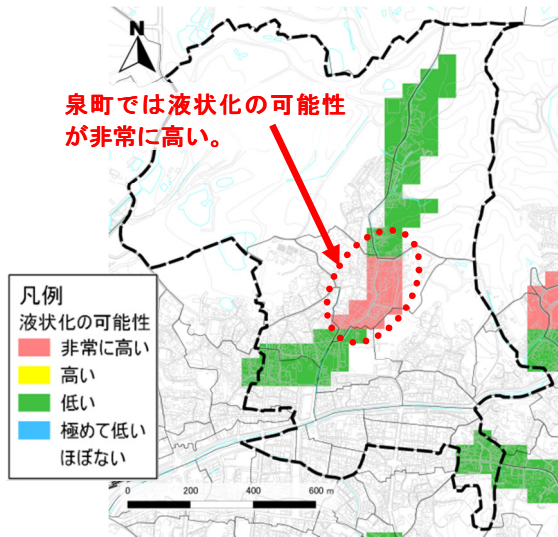
【建物被害および液状化】

(1) 建物被害について

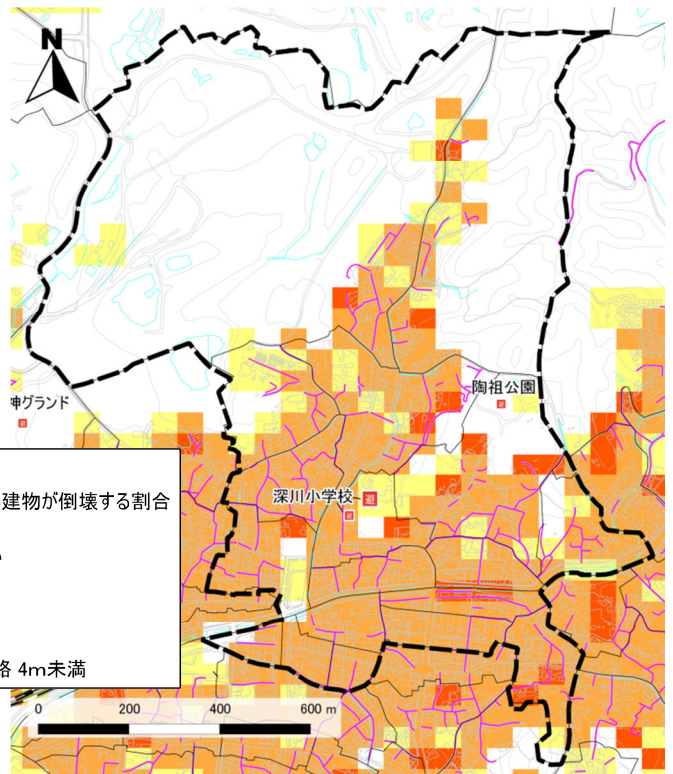
深川連区はほぼ全域にて、耐震性の低い建物が倒壊する割合が高く、幅員が狭小な道路が多いため、道路閉塞や火災延焼の危険度が高い。

(2) 液状化について

液状化の可能性がある地域は、主に印所川で形成された沖積低地（谷底平野）に分布し、泉町では可能性が非常に高い。



液状化危険度図



建物(木造および非木造)倒壊危険度図

【地震時の避難所および緊急避難場所】

深川連区では、地震時の緊急避難場所として陶祖公園、深川小学校の2ヶ所、避難所として深川小学校の1ヶ所が指定されている。近隣連区の避難所も含めて、居住地域の全域において、700m以内に避難所もしくは緊急避難場所が存在する。

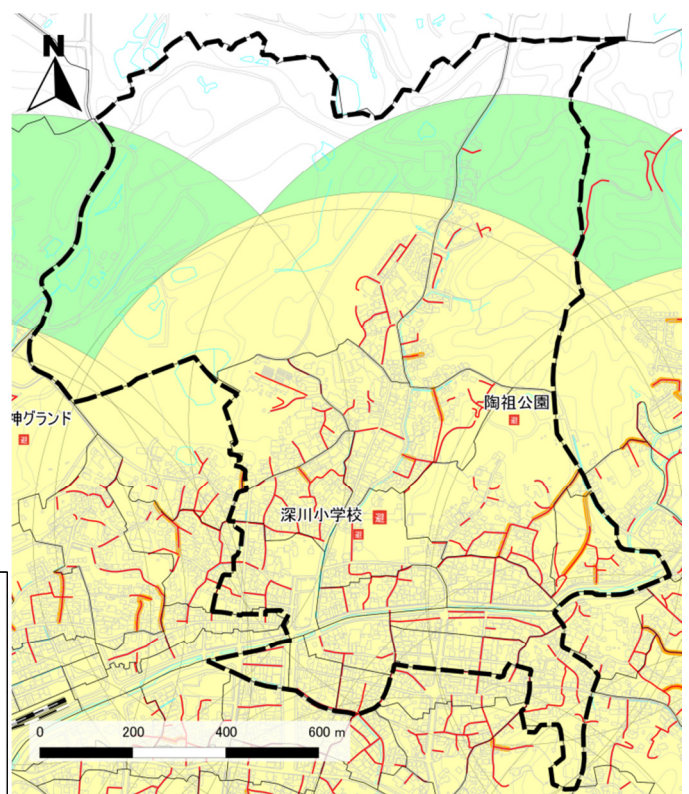
避難所および緊急避難場所へは狭い道が多く、災害後の状況によっては、円滑な避難が阻害される可能性がある。

地震時の避難所・緊急避難場所一覧

緊急避難場所	避難所	収容定員(目安)		
		長期	初期	直後
陶祖公園(野球場等)	深川小学校	80人	160人	255人
深川小学校(運動場)		※地域防災計画より		

凡例

- 避難所・緊急避難場所(地震)
- 避難所
- 緊急避難場所
- 避難所等からの対象範囲(同心円)
- 避難所から700mの範囲
- 緊急避難場所から700mの範囲
- 道路情報
- 道路傾斜 10度以上
- 道路幅員 4m未満



地震時の避難所・緊急避難場所の対象範囲図